

# 比較文化論

No.33

日本比較文化学会第37回全国大会  
(2015年度日本比較文化学会国際学術大会)

発表抄録

於 創価大学

2015年6月13日(土)

日本比較文化学会

The Japan Association of Comparative Culture

(海外提携学会)

韓国日本文化学会

台湾日本語文学会

## 第 37 回 日本比較文化学会全国大会

(2015 年度日本比較文化学会国際学術大会)

日時：2015 年 6 月 13 日 (土)

会場：創価大学中央教育棟 6 階 (受付・総会・シンポジウム・研究発表)

9:00 受付開始 中央教育棟 6 階 (エスカレータで上がってください)  
8:30～9:30 理事会 AW611 教室  
9:30～10:30 総会 AW608 教室  
10:30～12:30 シンポジウム AW608 教室

テーマ：「比較文化研究と研究倫理」

※各パネリストの発表時間は 10 分です。

司会 佐藤知条 (湘北短期大学)

パネリスト 1. (台湾日本語文学会) 頼振南 (同学会理事長)  
パネリスト 2. (韓国日本文化学会) 朴相鉉 (慶熙サイバー大学)  
パネリスト 3. (東北支部) 伊藤豊 (山形大学)  
パネリスト 4. (関東支部) 鈴木正弘 (所沢西高校)  
パネリスト 5. (中部支部) 澤田敬人 (静岡県立大学)  
パネリスト 6. (関西支部) 北林利治 (京都橘大学)  
パネリスト 7. (中国・四国支部) 山下明昭 (香川大学)  
パネリスト 8. (九州支部) 神崎明坤 (西南女学院大学)

12:30～13:15 昼食：学内レストラン「ニュー・プリンス」「ニュー・ロワール」  
(なお、中央教育棟内での飲食は 4 階カフェテリアにてお願いします。)

13:15～16:50 研究発表

(研究発表会場には、研究発表用の機器が設置されており、パワーポイントなどの使用も可能です。)

第 1 会場 AW601 教室 ・ 第 2 会場 AW602 教室  
第 3 会場 AW603 教室 ・ 第 4 会場 AW604 教室  
第 5 会場 AW605 教室 ・ 第 6 会場 AW606 教室  
第 7 会場 AW607 教室 ・ 第 8 会場 AW609 教室  
第 9 会場 AW610 教室

17:00～18:00 特別講演 AW608 教室

講師：花見常幸先生 (創価大学副学長補)

演題：大学における研究倫理 ―創価大学の取り組みを通して―

司会：鈴木宣行 (創価大学)

18:30～20:00 懇親会(台湾・頼先生のトランプ手品があります)

会場：学内レストラン「ニュー・プリンス」

会費：一般会員 (大学院生を含む) 5,000 円、学部生 4,000 円

準備の都合がありますので、お手数ですが、ご参加いただける方は 5 月 29 日 (金) までに会費を以下の銀行口座にお振り込みくださいますよう、お願い申し上げます。多くの方のご参加を期待しております。

銀行名：三井住友銀行 高尾支店 (たかおしてん) (店番：906)

口座番号：0691012

口座名義：日本比較文化学会関東支部編集室編集責任者 鈴木宣行 (すずいのぶゆき)

【シンポジウム：「比較文化研究と研究倫理」】

(会場：AW608)

(パネリスト発表論題一覧)

10：30 ～ 12：30

司会： 佐藤知条（湘北短期大学）

(1) 比較文化学における倫理

—災害時に寄り添うための文化理解—

頼振南（台湾輔仁大学教授）

(2) 比較文化学における倫理

—翻訳における倫理を中心として—

朴相鉉（慶熙サイバー大学教授）

(3) カルスタ、政治、倫理

伊藤豊（山形大学教授）

(4) 業績主義の潮流を背景とする「業績」の内実を問う

—『教育社会史史料研究』誌は何を取り上げてきたか—

鈴木正弘（埼玉県立所沢西高等学校教諭）

(5) 倫理の多元化と流動化

澤田敬人（静岡県立大学准教授）

(6) 比較文化学における研究倫理

—編集委員会の立場から—

北林利治（京都橘大学教授）

(7) 比較文化研究と研究倫理

山下明昭（香川大学教授）

(8) 中国の大学における日本語専攻教育の改革に関する考察

神崎明坤（西南女学院大学教授）

## 【研究発表論題】

第1会場：AW601 《日韓・韓日文化研究領域》

(司会： 北林利治 京都橘大学)

1. 13:15～13:45

在日韓国人ニューカマーのネットワークに関する考察  
—東京に滞在するIT技術者を中心に—

金ジョン (早稲田大学大学院博士後期課程)

2. 13:50～14:20

Social Structures and Neo-Confucianism of Chosun Dynasty and Tokugawa Japan

Kim, Tae Young (Gangneung-Wonju National University)

3. 14:25～14:55

テレビ番組における歴史再現の方式研究

劉 多虔 (筑波大学博士特別研究員)

休憩 (14:55～15:10)

(司会： 金志佳代子 兵庫県立大学)

4. 15:10～15:40

近代朝鮮女性の消費文化に及ぼした日本の影響

李京珪 (韓国東義大学教授)・李杏花 (韓国慶星大学講師)

5. 15:45～16:15

〈竹島〉日本の領土論者の歪曲された思考論理に関する分析  
—下條正男を一つの事例として—

崔長根 (韓国大邱大學校教授)

6. 16:20～16:50

家族関係の日韓比較

—家族の概念および家族に対する言動から—

横山由香 (韓国仁川大學校客員教授)

第2会場：AW602 《日韓・韓日/日中・中日/日台・台日文化研究領域》

(司会： 中村友紀 関東学院大学)

1. 13:15～13:45

韓国社会の思考停止状況分析

鄭根河 (韓国朝鮮大学校研究教授) ・ 李炯徹 (韓国朝鮮大学大学院博士課程)

2. 13:50～14:20

朝鮮美術展覧会に関する一考察

— 本展覧会は植民統治期の「朝鮮社会」にどのように受容されたか —

李尚珍 (山梨英和大学准教授)

3. 14:25～14:55

殷海光の知識人論・大衆論についての考察

陳熙 (東北大学大学院博士後期課程・日本学術振興会特別研究員)

休憩 (14:55～15:10)

(司会： 山内信幸 同志社大学)

4. 15:10～15:40

「中国人」の面子の特色と面子研究

花澤聖子 (神田外語大学教授)

5. 15:45～16:15

外国人散住地域における在日中国人ニューカマー青年の「居場所」創造

劉昊 (早稲田大学大学院博士後期課程)

6. 16:20～16:50

中国の大学における日本語専攻教育カリキュラムの改革

神崎明坤 (西南女学院大学教授)

第3会場：AW603 《欧米・アジアほか地域・文化研究領域》①

(司会： 鈴木光男 東京未来大学)

1. 13:15～13:45

アカデミック・ディベート経験者の英文における主題構造に関する一考察

橋尾晋平 (同志社大学大学院博士前期課程)

2. 13:50～14:20

日本で生活する日系人のブラジルとの関係考察

林永彦 (韓国全南大学研究教授)

3. 14:25～14:55

PEST 分析からみる異文化における経営

—在カンボジア日系資本経済特区にみる事例—

郭潔蓉 (東京未来大学教授)

休憩 (14:55～15:10)

(司会： 高山有紀 新島学園短期大学)

4. 15:10～15:40

小学生対象絵本の「読み聞かせ」

—各学年用月毎の実践モジュール例—

木戸美幸 (京都光華女子大学教授)

5. 15:45～16:15

H.D. ローンズリィ牧師に関する一考察

—ウィリアム・ワーズワスの回想録—

中村茂徳 (西南女学院大学非常勤講師)

6. 16:20～16:50

1930年代における南洋研究：南洋説話に関する松本信広と山本達郎の著書の比較

カルロヴァー・ペトラ (早稲田大学グローバルエデュケーションセンター)

第4会場：AW604 《欧米・アジアほか地域・文化研究領域》②

(司会： 成田小百合 新島学園短期大学)

1. 13:15～13:45

現代世界におけるキリスト教とパストラルケア—インターカルチュラル・アプローチ

才藤千津子 (同志社女子大学 准教授)

2. 13:50～14:20

二言語使用者の使用言語による言動・感情表現・アイデンティティの変容と  
背景文化から受ける影響に関する考察

東本裕子 (横浜商科大学 特任専任講師)

3. 14:25～14:55

消費社会におけるバービーの変化と理想化

塚本美穂 (京都外国語大学大学院博士後期課程)

休憩 (14:55～15:10)

(司会： 前田 浩 新島学園短期大学)

4. 15:10～15:40

大学生の英語学習を地域の異文化共生に役立たせるサービスラーニングの実践

山崎祐一 (長崎県立大学教授)

5. 15:45～16:15

「異文化理解」と「外国語学習」

—大学生の学びに焦点をあてて—

木塚恵子 (京都大学非常勤講師)

6. 16:20～16:50

地域密着型プロジェクトによる文化・産業の活性化

—産官学連携に基づく学びの実践と社会貢献を目指して—

関口英里 (同志社女子大学教授)

第5会場：AW605 《日本語学・日本語教育学研究領域》

(司会： 梶原 雄 同志社大学)

1. 13:15～13:45

日本語受身文におけるモダリティ的特性について

藤岡克則 (愛媛大学教授)

2. 13:50～14:20

接続詞に関する一考察

—「そこで」「それで」「だから」「すると」を中心に—

江雯薰 (台湾淡江大学准教授)

3. 14:25～14:55

韓国人学生が、韓国について、日本人に対し、日本語で、どう伝えるか

—平昌オリンピックを目指した会話教科書作成を通じて—

大谷鉄平 (韓国国立江陵原州大学校招聘教授)

休憩 (14:55～15:10)

(司会： 公文素子 高知大学)

4. 15:10～15:40

日本語における自発表現と可能表現との連続性について

林青樺 (台湾淡江大学助理教授)

5. 15:45～16:15

副詞の「ゆっくり」と「ゆっくりと」についての考察

—BCCWJにおける使用実態—

陳志文 (台湾高雄大学教授)

6. 16:20～16:50

「比較」を用いた日本語音声指導実践報告

—中国語・英語・ベトナム語を事例に—

山下明昭 (香川大学教授)

第6会場：AW606 《日本文化・日本文学研究領域》①

(司会： 山下明昭 香川大学)

1. 13:15～13:45

中島敦と植民地体験、そして後期作品との関連性

—「巡査のいる風景—1923年の一つのスケッチ—」(1929)と「D市七月叙景(一)」(1930)を手掛かりとして—

陳佳敏(宇都宮大学大学院博士後期課程)

2. 13:50～14:20

エコクリティシズムから見た多和田葉子の書くことの「倫理」

—「不死の島」と「献灯使」との連続性・断絶性—

曾秋桂(台湾淡江大学教授)

3. 14:25～14:55

川端康成の「山の音」と Seidensticker 英訳の比較

—呼称について—

林裕二(西南女学院大学教授)

休憩(14:55～15:10)

(司会： 伊月知子 愛媛大学)

4. 15:10～15:40

言語表現から見る「名前」に対する認識

—英語表現と日本語表現を比較して—

中島亨輔(九州産業大学語学教育研究センター常勤講師)

5. 15:45～16:15

和歌の朝鮮語訳研究

—植民地時代を中心として—

朴相鉉(韓国慶熙サイバー大学教授)

6. 16:20～16:50

辻潤—近代日本におけるエマソン型〈自己〉の宿命

小林竜一(早稲田大学国際言語文化研究所招聘研究員)

第7会場：AW607 《日本文化・日本文学研究領域》②

(司会： 八尋春海 西南女学院大学)

1. 13:15～13:45

祖父母の孫への子育て支援が母親の精神的健康(気分状態)に与える影響

吉田亜矢 (東京純心大学専任講師)

2. 13:50～14:20

日本人の「あし」の文化的多様性の総合的考察

—「あし」の概念—

栗山緑 (広島大学大学院博士後期課程)

3. 14:25～14:55

「気」の日本語文化論

—“気がふさぐ”の意味用法とその文化論的特徴—

戸田利彦 (比治山大学教授)

休憩 (14:55～15:10)

(司会： 林 裕二 西南女学院大学)

4. 15:10～15:40

中世興福寺の「饗応」に関する一考察

高山有紀 (新島学園短期大学准教授)

5. 15:45～16:15

韓国の日本語学部新入生の漢字能力

—「日中韓共同常用漢字表」を活用して—

梶原 雄 (同志社大学嘱託講師)

6. 16:20～16:50

否定疑問文のコミュニケーション機能について

—聞き手に与える不快感を中心に—

王歆 (同志社大学大学院博士前期課程)

第8会場：AW609 教室《対照言語研究領域》

(司会： 佐藤 静 宮城教育大学)

1. 13:15～13:45

『現代漢語詞典』の収録状況から見た日本の借用語について  
—中国の新語を中心に—

張黎 (千葉大学講師)

2. 13:50～14:20

文末否定疑問文に関する日中対照研究  
—「(の) ではないか」を中心に—

曹微苛 (同志社大学大学院博士前期課程)

3. 14:25～14:55

日本語母語話者とインドネシア母語話者の断り表現  
—親しさの度合いに着目して—

キャンディー (同志社大学大学院博士後期課程)

休憩 (14:55～15:10)

(司会： 佐藤和博 弘前学院大学)

4. 15:10～15:40

英語に関する日中学習者の意識調査の対照研究

郭曉燕 (中国上海立信会計学院外国語学院教授)・陶琳 (金沢大学客員研究員)

5. 15:45～16:15

接続助詞「けれども」とその中国語の相当表現

王天保 (台湾淡江大学助理教授)

6. 16:20～16:50

大学での中高教員養成における英語運用能力の育成と課題

—学生の英語使用に関する認識の変化と使用データからの考察—

三浦幸子 (都留文科大学准教授)

第9会場：AW610 教室《多文化研究領域》

(司会： 澤田敬人 静岡県立大学)

1. 13:15～13:45

マカオの多文化共生社会に関する学理的価値をめぐって  
—宗教多様性を中心に—

周聖來 (中国マカオ旅遊学院講師)

2. 13:50～14:20

19世紀英国の教育論に関する一考察  
—オクタヴィア・ヒルにおける教育論の現代的意義—

木村美里 (聖学院大学特任助手)

3. 14:25～14:55

中国海南島における黎族の動向に関する一考察

金塚基 (東京未来大学講師)

休憩 (14:55～15:10)

(司会： 金塚基 東京未来大学)

4. 15:10～15:40

工学分野における「文化に目を向ける」教育方法の一考察  
—印象評価サポートツール (Web版) の開発とその教育的活用—

大海悠太 (東京工芸大学助教)・森崎巧一 (湘北短期大学講師)

5. 15:45～16:15

少数民族教育における学校の課題  
—母国語の保持とアイデンティティの維持形成に着目して—

田中真奈美 (東京未来大学准教授)

6. 16:20～16:50

フィンランドにおける0歳からの多文化保育

三井真紀 (九州ルーテル学院大学講師)

## ※宿舎 (ホテル) について

学会開催時期にあたり八王子のホテルは混み合いますので、各自でできるだけ早めに宿泊先を確保されるよう、お願い申し上げます。

下記のホテルはインターネット（例：<http://www.jalan.net/>または、ホテル名を入力）での予約をお願い致します。

### 記

京王プラザホテル八王子(JR 八王子駅北口から徒歩1分)

ザ・ビー八王子(JR 八王子駅北口から徒歩7分・京王八王子駅から徒歩1分)

R & B ホテル八王子(J R 八王子駅北口より徒歩約7分・京王八王子駅中央口より徒歩約1分)

マロウドイン八王子(JR 八王子駅北口から徒歩4分)

八王子スカイホテル(J R 八王子駅北口から徒歩8分)

三恵シティホテル八王子(J R 八王子駅北口より徒歩5分)

八王子アーバンホテル(JR 八王子駅南口より徒歩約1分)

サンホテル八王子(J R 八王子駅南口より徒歩3分)

## ※会場校へのアクセス

### 【JR 八王子駅北口から大学までの地図】

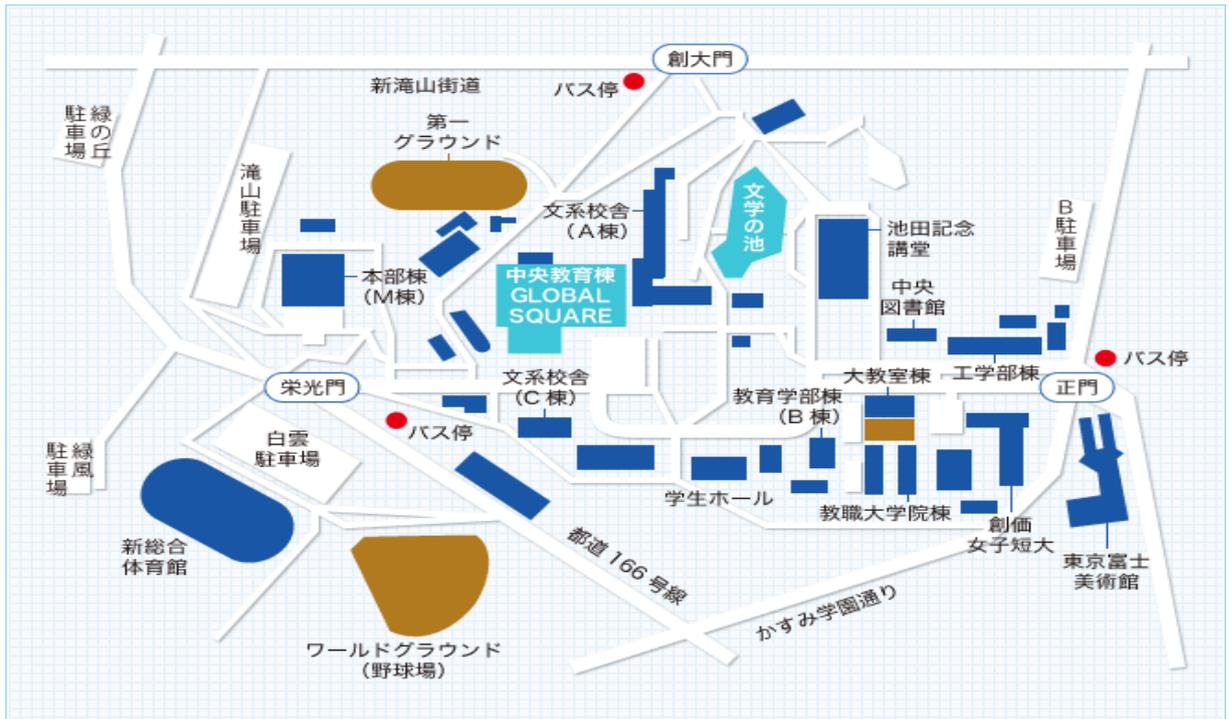


JR 八王子駅北口バスターミナルから「創価大学正門東京富士美術館」行きか「創価大学循環」の「ひよどり山トンネル経由」に乗車。「創価大学正門前」下車。所要時間は15分程度。乗り場は12:30までは「14番」乗り場、それ以後は「12番」乗り場です。料金は310円です。西東京バス時刻表はつぎのHPからご覧になれます。

[http://www.nisitokyobus.co.jp/wp/wp-content/themes/nisitokyobus/rosen/lib/object\\_s/jrhachioji\\_holiday20140901.pdf](http://www.nisitokyobus.co.jp/wp/wp-content/themes/nisitokyobus/rosen/lib/object_s/jrhachioji_holiday20140901.pdf)

【創価大学キャンパス地図】

会場は地図中央の「中央教育棟」で、受付は4階です。(エスカレータ利用)



大会会場の各教室案内 (中央教育棟 GLOBAL SQUARE : 6階AW側)



## 電車とタクシーについて

### 【JR八王子駅までの交通機関とJR八王子駅北口からのタクシーの利用】

1. JR新宿駅からJR八王子駅まで中央線「特別快速」(特快)で、45分程度。
2. 京王線「新宿駅」から「京王八王子駅」まで特急または準特急で50分程度。  
(京王八王子駅からJR八王子駅北口までは徒歩5分程度。)
3. JR八王子駅北口から創価大学までタクシー利用の場合  
「創価大学新総合教育棟」と運転手に告げ、さらに創価大学正門の警備室に「日本比較文化学会に参加」と告げ、そのまま「中央教育棟」前まで行ってください。

※自家用車でのご来学は、ご遠慮ください。(駐車場の確保はできません。)

---

比較文化論 No.33

発行 2015年5月16日  
日本比較文化学会

#### 本部事務局

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番地  
愛媛大学教育・学生支援機構 英語教育センター  
藤岡克則研究室内 日本比較文化学会事務局

第37回日本比較文化学会全国大会(2015年度国際学術大会)  
準備委員会事務局

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236  
創価大学ワールドランゲージセンター  
鈴井宣行研究室  
電話: 090-8086-9551  
Email: nonkun49@yahoo.co.jp

#### 印刷

株式会社 清水工房(揺籃社)  
〒192-0056 東京都八王子市迫分町10-4-101  
Tel 042-620-2626 Fax 042-620-2616  
Mail info@simizukobo.com  
URL <http://www.simizukobo.com/>

---